ELECOM

ワイヤレス光学式マウス

M-DY5DR シリーズ

ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム ワイヤレス光学式マウス "M-DY5DR" シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは "M-DY5DR" シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※このマニュアルでは一部の表記を除いて "M-DY5DR" シリーズを「本製品」と表記しています。

本製品は財団法人テレコムエンジニアリングセンター（TELEC)により、電波法施行規則第6条第1項に規定する発射電波が著しく微弱な無線局の無線設備であることを証明されたものです。
http://www.telec.or.jp/

安全にお使いいただくために

■絵表示の意味

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

「してはいけない」ことを示します。
「しなければならないこと」を示します。
「注意していただきたいこと」を記載しています。
「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。
「知っていると便利なこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

⚠ 警告

- 本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認した後で、レシーバユニットをパソコンから取り外し、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。
万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品の分解や改造、修理などをご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
故障時の保証の対象外となります。
- 本製品を火中に投入しないでください。
破裂により火災やけがの原因になります。
- レシーバユニットはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

- 本製品を次のようなところには置かないでください。
  - 日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ
  - 多湿なところ、結露をおこすところ
  - 平坦でないところ、振動が発生するところ
  - マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
  - ほこりの多いところ
- 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- 本製品および電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。
- 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
- ガラスなどの透明な場所や鏡など強く反射をする場所で使用すると、光学式センサーが正しく機能せず、マウスカーソルの動きが不安定になります。

■ 電池について

⚠ 注意

- 本製品には単４形アルカリ乾電池、単４形マンガン乾電池、または単４形ニッケル水素２次電池を使用してください。
- 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■ お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

⚠ 警告

- 誤動作等により人体や財産に重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
- 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします

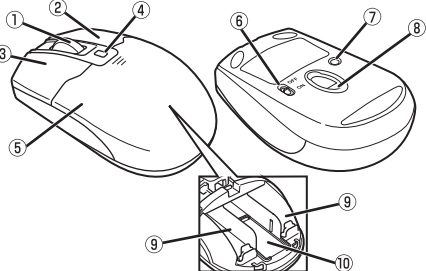
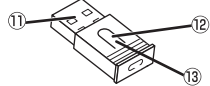
※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- マウス本体...1 個
- レシーバユニット..1 個
- 動作確認用単４形アルカリ乾電池...........................2 本
- ユーザーズマニュアル（このマニュアルです）.........1 部

各部の名称とはたらき

■ マウス本体

■ レシーバユニット

① ホイール
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。

② 右ボタン
パソコンの操作の右クリックに使います。

③ 左ボタン
パソコンの操作の左クリックに使います。

④ 電池残量表示ランプ
電池の交換時期をお知らせします。
※電池残量が少なくなると、一定時間赤く点滅します

⑤ 電池カバー
このカバーを取り外して、電池を入れます。

⑥ 電源スイッチ
マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)します。

⑦ ID 設定ボタン
本製品の ID を設定するときに使用します。

⑧ 光学式センサー
マウス本体に電源が入ると赤く点灯します。マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
※センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。

⑨ 電池収納部
電池を収納します。

⑩ レシーバユニット収納部
レシーバユニットを収納します。

⑪ USB コネクタ(オス)
パソコンの USB ポートに接続します。

⑫ ID 設定ボタン
本製品の ID を設定するときに使用します。

⑬ ID 設定ランプ
本製品の ID を設定中に点滅します。
（マウスからの入力があると点灯します。）

使用時の準備

電池を入れる / 交換する

本製品を使用するときは、単４形電池２本をマウス本体に入れます。

1 電池カバーの上部を押しながら、電池カバーを開きます。

電池カバーを押しながら、電池カバーを開く

2 電池を入れます。

- 電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
- 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。

3 電池カバーを閉めます。

カチっとはめ込む

マウス本体の電源を入(ON)/ 切(OFF)する

■ マウス本体の電源を入れる

本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。
電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。
※電池容量が少なくなったときは、電池残量表示ランプが一定時間赤く光ります。

OFF ON

■ マウス本体の電源を切る

本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。
電源スイッチを OFF の位置にスライドさせます。

OFF ON

■ スリープ状態から復帰する

マウスの右ボタンをクリックします。

電池の消耗を抑えるため、電源スイッチが ON の状態で操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的にスリープモードに移行します。

レシーバユニットを収納する / 取り出す

■ レシーバユニットを収納する

1 電池カバーの上部を押しながら、電池カバーを開きます。

電池カバーを押しながら、電池カバーを開く

2 レシーバユニットを収納します。

3 電池カバーを閉めます。

カチっとはめ込む

■ レシーバユニットを取り出す

1 電池カバーの上部を押しながら、電池カバーを開きます。

電池カバーを押しながら、電池カバーを開く

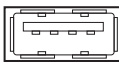
2 レシーバユニットを取り出します。

3 電池カバーを閉めます。

カチっとはめ込む

Windows® で使用する

Step1 USB ポートを確認する

お使いのパソコンの USB ポートを確認してください。

USB ポート

- USB ポートはどのポートでも使用できます。
- USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバユニットを取り付ける

1 パソコンを起動します。
- Windows® の起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
- Windows® が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

2 レシーバユニットをパソコンの USB ポートに挿入します。

- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 挿入時に、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。

3 Windows 標準マウスドライバが自動的にインストールされます。

Step3 ホイールの動作を確認する

Windows® の「Internet Explorer」でマウスのスクロールが正常に動作しているかを確認します。

1 [スタート] ボタンから[すべてのプログラム] − [Internet Explorer]の順にクリックします。
「Internet Explorer」が起動します。

2 Internet Explorer でお好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。

3 マウスのホイールを前後に動かします。

指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。

スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

Mac OS X で使用する

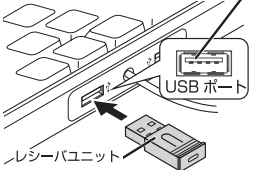
Step1 USB ポートを確認する

お使いのパソコンの USB ポートを確認してください。

- USB ポートはどのポートでも使用できます。
- USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバユニットを取り付ける

1 パソコンを起動します。
- Macintosh が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

2 レシーバユニットを Macintosh の USB ポートに挿入します。

- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 差し込みの際、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。

3 ドライバが自動的にインストールされます。

Step3 ホイールの動作を確認する

Mac OS X に付属の「Safari」でマウスのスクロールが正常に動作しているかを確認します。

1 Dock に登録されている「Safari」のアイコンをクリックします。
「Safari」が起動します。

Safari が Dock に登録されてない場合は、「アプリケーション」フォルダ内の「Safari」をダブルクリックします。

2 Safari でお好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。

3 マウスのホイールを前後に動かします。

指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。

スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■ マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない、動作が不安定

➡使用している場所の光の反射率が光学式マウスに適していない可能性があります。光学式マウスに対応したマウスパッドの上で本製品を使用してください。

➡スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、マウスの動作が安定するところまでレシーバユニットをマウスに近づけてください。

➡レシーバユニットがパソコン本体などの USB ポートに正しく接続されていない可能性があります。一度レシーバユニットを USB ポートから取り外して、接続し直してください。

➡レシーバユニットとマウスの距離が離れすぎているか、レシーバユニットが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバユニットの位置を調整するなどしてください。

本製品の動作範囲は、レシーバユニットとマウスが非磁性体(木の机など)上では半径 1m 以内、磁性体(鉄の机など)上では、約 0.2m 以内です。使用環境によっては、範囲内でもマウスが正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまで、マウスをレシーバユニットに近づけてください。

➡本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。「ID を変更する」を参照し、本製品の ID を変更するか、他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。

➡電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「電池を入れる / 交換する」(表面)を参照し、早めに新しい電池に交換してください。
- 本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消耗していることがあります。
- マウスの電池残量が少なくなったときは、マウス上面にある電池残量表示ランプが一定時間赤く光ります。

※マウスを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。

➡Windows 標準マウスドライバが正しくインストールされず、本製品が Windows® に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、「「不明なデバイス」の削除方法」を参照し、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「Step2 レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

➡本製品の前にお使いになっていたマウスがメーカーオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを利用していた場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については、今までお使いのマウスの説明書をお読みください。

➡ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

■ マウスカーソルは動くが、ホイールが動かない

➡スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

ID を変更する

レシーバユニットとマウスの ID を合わせます。

1 レシーバユニットを取り付けた状態で、パソコンの電源を入れます。

2 確実に電波を受信できるように、マウスをレシーバユニットに近づけます。

3 レシーバユニットの ID 設定ボタンを押します。
レシーバユニットの ID 設定ランプが点滅します。

4 マウス底面にある ID 設定ボタンを押します。
マウスの ID が設定され、レシーバユニットの ID 設定ランプが消灯します。

5 マウスを操作して、正しく動くか確認します。
動かない場合は、手順 3 ～ 4 を繰り返し、もう一度 ID を変更します。

チャンネルを変更して混信を回避しても、近接した周波数を使用しているために、動作性能が多少低下することがあります。

「不明なデバイス」の削除方法

Windows 標準マウスドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「Step2 レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

- 「不明なデバイス」が複数ある場合、削除をはじめる前にどの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。レシーバユニットを一度パソコンから取り外してみて、「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。
- 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

レシーバユニットをパソコンに接続した状態で、次の手順に従って「不明なデバイス」を削除してください。
※ Windows® の起動時は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンして下さい。
※ OSにより画面表示が異なる場合がありますが操作手順は同じです。

1 デバイスマネージャを表示します。
- Windows® 7、Windows Vista® の場合
  1. [スタート]ボタンをクリックし、[コンピューター](Windows Vista®では[コンピュータ])を右クリックします。
  2. [プロパティ]をクリックします。

  3. [デバイス マネージャー](Windows Vista®では[デバイス マネージャ])をクリックします。

- Windows® XP の場合
  1. [スタート]ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ]を右クリックします。
  2. [プロパティ]をクリックします。
  3. [ハードウェア]タブをクリックします。
  4. [デバイス マネージャ] をクリックします。

2 [デバイス マネージャ]画面が表示されるので、「不明なデバイス」を右クリックし、[削除]をクリックします。

3 [OK] をクリックします。

4 レシーバユニットを取り外し、パソコンを再起動します。

5 「Step2 レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直します。

基本仕様

製品名	ワイヤレス光学式マウス
製品型番	M-DY5DR シリーズ
対応 OS	Windows 7, Windows Vista（～ SP2）, Windows XP（SP2 ～ SP3） Mac OS X 10.5 ～ 10.5.8, 10.6 ～ 10.6.4
カウント数	1000 カウント
対応インターフェイス	USB
電波周波数	27MHz 帯
電波到達距離	非磁性体(木の机など)：約 1m 磁性体(鉄の机など)：約 0.2m ※弊社環境でのテスト値であり保証値ではありません。
本体寸法	W 58.2 × D 98.5 × H 35.4 mm
レシーバユニット寸法	W 14.5 × D 32.5 × H 6.5 mm
動作温度 / 湿度	5℃～ 40℃ / ～ 90%RH(ただし結露なきこと)
保存温度 / 湿度	-10℃～ 60℃ / ～ 90%RH(ただし結露なきこと)
対応電池	単 4 形アルカリ乾電池、単 4 形マンガン乾電池、単 4 形ニッケル水素 2 次電池
動作時間	アルカリ乾電池使用時の目安 連続動作時間：約 66 時間 連続待機時間：約 312 日 想定使用可能時間：約 32 日 (1 日 8 時間のパソコン操作中 25% をマウス操作に割り当てた場合)

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL：0570-084-465
FAX：0570-050-012

[受付時間]
9:00 ～ 19:00
年中無休

保証書シールについて

本製品の保証書はパッケージの裏側にあります。
シール形状になっていますので、パッケージからはがして、本マニュアルの下部の保証書シール貼り付け位置に貼って、マニュアルと一緒に保管してください。

ここに保証書シールをお貼りください。

保証規定

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
   (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
   (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。
   (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
   (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
   (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
   (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
   (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
   (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
   (9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理

3. 修理のご依頼は、本保証書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■免責事項

8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

ワイヤレス光学式マウス
M-DY5DR シリーズ
ユーザーズマニュアル
2010 年 9 月 25 日 第 1 版
エレコム株式会社

・本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任をいかねますのでご了承ください。
・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。

MAP1-M11